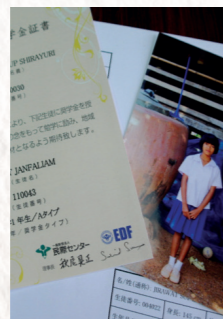


奨学生との結びつき

奨学金証書

支援する奨学生の写真と報告書が年に1回8月～9月にかけて、EDFから届きます。奨学生の成長を3年間毎年届く写真で確認していただけです。



ニュースレター

EDFで行った活動の報告をはじめ、特に在タイ日本人・日本企業の奨学金提供者がお気軽に参加できるチャリティーイベントなどのご案内を中心にしたニュースレターを年に4回(4半期毎に)お送りいたします。



現地の奨学生の学校と家庭訪問

ご自分が支援している生徒の学校と家庭を実際に見てみたい方に現地訪問の手段(交通手段、現地のスタッフなど)のアレンジをします。

文通

ドナーが手紙のやり取りで自分の支援している生徒と交流できます。タイは中学で英語を学びますので簡単な英語で可能。日本語で手紙を書く方に翻訳サービスもご利用いただけます。

奨学金以外のプロジェクト

奨学金以外、校内の開発的プロジェクトを実施しています。

- ・ 一校一事業(OSOP) —タイ東北の中・高校を対象に地域資源活用事業を助成(有機農業や給食提供他)
- ・ 飲料水
- ・ 学校内の施設(図書室、トイレ等)設置・改善
- ・ 自転車通学—奨学金と自転車の提供
- ・ ICT開発—コンピューターセットの設置と研修

*上記以外でも、ご提案により各種特別プロジェクト推進のご相談を承ります。



清潔な飲み水を毎日飲める

本に接する機会を提供

農業生産は学校昼食及び販売可能

支援者の声



タレント
向井亜紀さん

長く支援すること。一人でも多くの方に支援いただくこと。それが大切なことです。

2000年に癌による子宮摘出手術を受け、2003年に代理出産で双子の男の子を授かるまでの長い心の戦いの中で得た「子どもを大切に思う気持ち、彼らの未来や夢を応援する気持ちを忘れないでおこう」という考えを形にするため、私はダルニー奨学金をはじめました。支援ができるとなると嬉しくて、最初はおこづかいをためて何十人も

の子どもを支援しようと思っていたのですが、主人(元格闘家の高田延彦氏)と「ある年は100人分でも翌年はゼロというのではなく、長く支援することに意味があるのではないか。その上で、一人でも多くの方に支援してもらうことが大切じゃないか」と話し合いました。今では、私個人の支援以外に、彼が経営する高田道場にも募金箱を置いて、少しずつ支援し続けています。

ダルニー奨学金の元奨学生



氏名 : ソピダー・スックプラサート
元 : スリン県EDFの奨学生、中学1年~3年(1994年~1996年)
現在 : Chulabhorn International College of Medicineタマサート大学医学部教員

田舎に住む貧しい子供にこのように素晴らしい機会を与えてくださったことに対して、奨学金の支援者の方に心からお礼を申し上げます。奨学金をもらってから、もっと勉強を頑張りたいという気持ちで、自分の夢に向けて努力しています。当時、私は母と一緒に暮らしていました。母は一人で家族

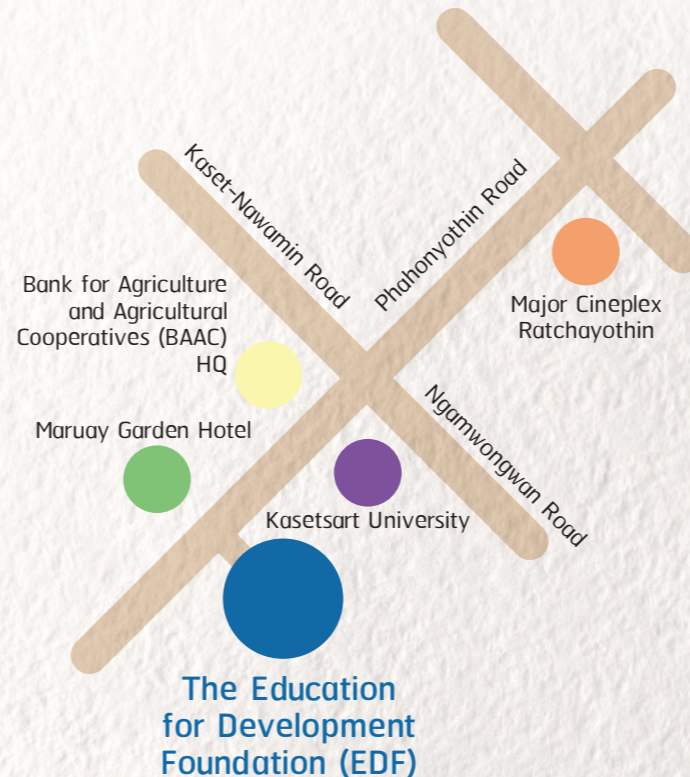
を養ってくれました。私は中学・高等卒業後、コンケン大学教育学部に進学しました。大学在学中は、タイ学費ローン基金機構から奨学金を受け、家庭教師のアルバイトもしながら、できる限り家計に負担をかけないように勉強を続けた結果、同大学大学院(生科学科理学部)と博士課程(生化学部)を卒業することが出来ました。そのきっかけを与えてくれたのが中学を支援していただいた「ダルニー奨学金」です。本当に心から感謝しています。

奨学生担当者の先生の声



氏名 : ソムキット・カムガンワン先生
現在 : プリラム県バーンペンブウアイ校

教育レベルの低い両親は田舎にいる高齢者に子どもを預け、都会に出稼ぎに行きます。子供たちは身近に勉強に関する相談できる人がいないため、授業を欠席、最終的に学校を退学してしまうことがよくあります。子供たちに基礎教育を提供できれば、この問題が解決されると私は信じています。「ダルニー奨学金」は経済的に恵まれない家庭の子供たちに対してとても役に立っていると思います。頂いた奨学金を教科書や学校に必要な文房具などを使用され、家計への大きな助けとなります。



The Education for Development Foundation (EDF)

50 Kasetsart University Alumni Building, 3rd Fl.

Phaholyothin Rd., Jatujak,

Bangkok 10900, THAILAND

Tel : (+662) 579-9209-11

(+662) 942-8538

Fax : (+662) 940-5266

E-mail : public@edfthai.org

www.edfthai.org/jp



EDF

The Education for Development Foundation
มูลนิธิกองทุนการศึกษาเพื่อการพัฒนา

子どもの就学の夢を叶えるために、「ダルニー奨学金」が生まれました。



こんな笑顔を
みんなの力で...

ダルニー奨学金のはじまり



1987年、秋尾晃正(弊財団副理事長)は、慶応大学の留学生サクダ・スイサンコム(弊財団理事)が故郷のタイ東北地方ウドンターニー県に帰省する際、同行して初めて同地方の村を訪れました。村人は日本人を暖かく迎えてくれました。しかしここはタイで最も貧しい地域で、小学校を出ただけで働きに行かされる子どもが多いと聞き、胸が痛みました。その子どもたちの進学支援をしたいという気持ちを強く持った秋尾は日本に「日本民衆交流センター」という財団を設立し、「ダルニー奨学金」を始めました。この名前は村で親しくなった女の子、「ダルニーちゃん」にちなんで付けました。同年にタイにも「ダルニー奨学金」を運営する「地域開発教育基金(EDF)」を創設しました。

EDF は公益法人第255号として財務省の認可を受け、財団化しています。学校に通うことが出来ない子どもたちに人間として基本的な教育を受けるチャンスを届ける、基礎教育支援を通じて将来、自分の可能性を最大限に発揮し、自分の故郷の発展に貢献できる人材として育成することを目的に、貧困問題の解決、地域開発、国際理解への支援事業を展開しています。

EDFの活動目的

EDF では、1987年からタイ東北地方20県において、僻地の農村に住む貧しい子ども達を支援して、奨学金事業や様々な教育開発活動を行っています。地方公共団体、民間団体、タイ東北部全20県の教育省所管教育委員会との良好な協力関係のもと、この地域に住む子ども達が少ないとも義務教育段階(中学1年~3年まで)だけは修了できるように支援を続け、現在までに当該学区4,000校以上の中学へ、延べ300,000人もの貧しい子どもたちに中学就学の機会を届けることができました。



奨学金事業について

奨学金提供学年

- ・ 中学
- ・ 高校への継続支援についても手続き可能です。

奨学生の選考基準

- ・ 中学支援の場合、成績ではなく、「より貧しい」が基準。
- ・ 高校支援の場合、GPA2.75以上が好ましい
- ・ 公務員、区長、村長の子ででないこと
- ・ 現地の県の教育委員会や地元教師が、選考委員として厳正に奨学生を選考。
- ・ 世帯の年収が25,000バーツ以下の貧困家庭あること。
- ・ 本人に中学・高校進学の意味があり、品行方正であること。

奨学金の使途

- ・ 特別な科目の授業料、制服、教材、文房具、運動着、靴、交通費などの費用に使われています。学生の銀行口座に振り込まれ、教育費としてのみ奨学生と担当教師との連名で引き出し可能。



ご協力方法

企業としての寄付・協力

企業の社会貢献活動の一環として、以下のような例があります。

- ・ 企業の名義で学生に支援できる奨学金提供
- ・ 経常利益の1%相当額などを社会貢献活動として寄付
- ・ ゴルフコンペ、年末年始事業、または周年記念事業によってまとまった寄付を実施
- ・ 社内の組合や社会サークルや従業員募金により寄付
- ・ 企業としてまとまった規模の資金で独自のプロジェクトを支援したい
- ・ といったご要望がある場合は担当までご相談ください。
- ・ 社内の中に募金箱やパンフレットスタンドの常設



個人による寄付・協力

- ・ 6,000バーツで3年間中学就学支援/5,000バーツ1年間高校就学支援で1人の学生に支援できる奨学金提供
- ・ 募金箱設置場所の紹介
- ・ PRボランティア: 広告・記事掲載のためのコンタクトとEDFが参加できるイベントの紹介
- ・ 翻訳ボランティア(タイ語/英語から日本語へ)

奨学金タイプの説明

奨学金は一人の子どもに対し1年間2,000バーツ(中学生の場合)を原則として、A,B,Cの3つの支援方法があります。

- ・ **Aタイプ 3年間を一括お支払い**
一人の子どもの3年間分の奨学金を、全額一括してお支払いいただく方法です。
- ・ **Bタイプ 3年間で1年分ずつ3年継続してお支払い**
3年間分一括して納入するのではなく、1年間分ずつお支払いいただく方法です。
- ・ **Cタイプ 今回1回限りのお支払い**
1回限り1年分のみのお支払いいただく方法です。但し、この場合は同じ生徒を継続して支援できません。
* AタイプとBタイプは原則として3年間同じ子どもを支援できますが、生徒側の事情による退学などで、別の奨学生に変更となることがあります。
- ・ **Hタイプ**
1年間高校への支援(5,000バーツ/年):同じ子どもへのご支援を継続することも可能。

寄付金の送金方法

右記の申込書にご記入の上、所定の方法でご送金下さい。

- ・ **小切手(Personal Check, Cashier Check)によるお申込み**
Crossed Checkを申込書と共に下記送付先へ送付。普通郵便可。
- ・ **アユタヤ銀行(旧三菱東京UFJ銀行)でのお振込み**
振込先:アユタヤ銀行バンコクサトーン支店
口座名: [The Education for Development Foundation \(EDF\)](#)
口座番号: 006696
注:振込人氏名住所を必ず振り込み依頼書に記入、同時に申込書を窓口へ提出。
- ・ **Donation Point (東京堂書店、フジスーパー、クラブタイランドカフェ)**
上記のDonation Point店頭、カウンターで申込書に現金を添えて申込可能。Donation Pointから仮の領収書を発行します。
- ・ **クレジットカードによるお申込**
申込書に記入、署名後下記送付先へご送付下さい。FAX可
- ・ **タイの銀行口座への振込**
口座名: [EDF \(Saving Account\)](#)
振込先と口座番号
 - ・ [Siam Commercial Bank, Ngamwongwan Branch, 319-2-77744-8](#)
 - ・ [Bangkok Bank, Bangkok Branch, 161-456698-0](#)
 - ・ [Kasikorn Bank, Bangkok Branch, 070-2-45369-0](#)
 - ・ [TMB Bank, Kasetsart University Branch, 069-2-41110-1](#)
 - ・ [Krungthai Bank, Phaholyothin 40 Branch, 980-7-59891-5](#)
 注:銀行からもらう振込依頼書写しをご記入済の申込書と共に下記の送付先に送付下さい。FAXかEmail可

申込書等の送付先
宛先 [The Education for Development Foundation \(EDF\)](#)
50 Kasetsart University Alumni Building, 3rd Fl.
Phaholyothin Rd., Jatujak, Bangkok 10900, THAILAND
Fax : (+662) 940-5266 E-mail : public@edfthai.org
Tel : (+662) 579-9209-11 (タイ語), (+662) 942-8538 (日本語対応)

ダルニー奨学金申込書

申込日 _____

登録番号	_____ <small>すでに登録番号をお持ちの方はご記入下さい</small>	
お名前(漢字)	_____ <small>団体・グループ名称可(最大32文字)</small>	
お名前(ローマ字)	Mr./Ms. E-mail	_____
タイのご住所	<input type="text"/> **	Tel: _____ Fax: _____
タイのご勤務先	<input type="text"/> **	Tel: _____ Fax: _____
日本のご住所	<input type="text"/> **	Tel: _____ Fax: _____
タイ滞在のご予定	あと _____ 年	_____ ヶ月位

**報告書の希望送付先に印をお付け下さい(1箇所のみ)。
***タイのご住所で返送された場合や帰国された場合、日本のご住所に報告書を送付致します。

奨学金支援のご希望タイプ記入欄	送金方法記入欄
<p>● Aタイプ:3年分一括 6,000バーツ x _____ 人分= _____ バーツ</p> <p>● Bタイプ:3年分分割の新規(1年目) 2,000バーツ x _____ 人分= _____ バーツ</p> <p>● Bタイプ:3年分分割の継続(2年目か3年目) 2,000バーツ x _____ 人分= _____ バーツ</p> <p>● Cタイプ:単年度のみ 2,000バーツ x _____ 人分= _____ バーツ</p> <p>● Hタイプ:単年度のみ(高校生) 5,000バーツ x _____ 人分= _____ バーツ</p> <p>● Dタイプ: EDF タイ事務局への寄付 _____ バーツ</p> <p>● Eタイプ:任意の奨学金寄付方法はEDFに一任 _____ バーツ</p>	<p><input type="checkbox"/> 小切手</p> <p><input type="checkbox"/> アユタヤ銀行バンコクサトーン支店 (旧三菱東京UFJ銀行バンコク支店) 入金日: _____</p> <p><input type="checkbox"/> Donation Point <input type="checkbox"/> 東京堂書店 <input type="checkbox"/> フジスーパー <input type="checkbox"/> クラブタイランドカフェ</p> <p><input type="checkbox"/> クレジットカード JCB <input type="checkbox"/> VISA <input type="checkbox"/> MASTER <input type="checkbox"/> その他 _____ カード番号: _____ _____ _____</p> <p><small>(表の全16桁とカードの裏のサイン用の紙の上にある7桁の数字の最後の3桁) (MMYYYY)</small></p> <p>有効期限: _____</p> <p>署名(手書き): _____</p> <p><input type="checkbox"/> タイ銀行振込 入金日: _____ 口座名: The Education for Development Foundation</p> <p><input type="checkbox"/> Siam Commercial Bank <input type="checkbox"/> Bangkok Bank <input type="checkbox"/> Thai Farmer Bank</p> <p><input type="checkbox"/> その他: _____</p>
<p>合計: _____ バーツ</p> <p>男女の希望がある場合のみご記入ください。 <input type="checkbox"/> 男子 _____ 人 <input type="checkbox"/> 女子 _____ 人</p>	